



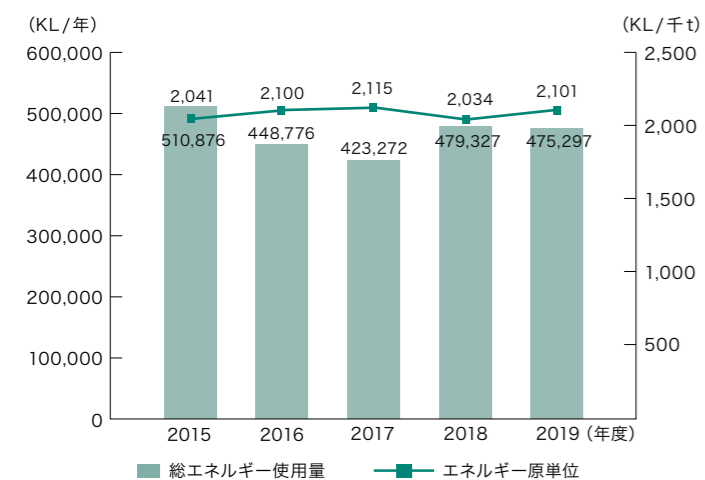
当社は、製造工程において多くの電力や化石燃料を使用し、ばい煙等を排出しています。そのため、省エネ対策に積極的に取り組むとともに、大気、水域への環境負荷の低減に努めています。

## 地球温暖化抑制・省エネルギー対策

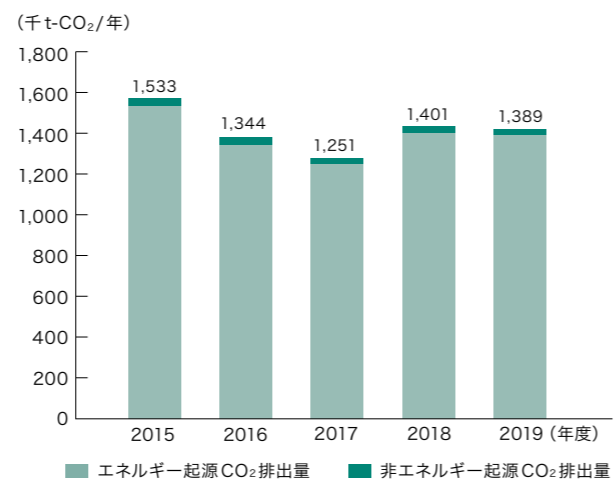
製造工程において、電気炉高温排ガスをニッケル鉱石の乾燥工程に利用し、重油およびLNGの使用量を削減する等、エネルギーの効率的な活用に取り組んでいます。

2019年度の総エネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量は、2018年度と比較しどちらも削減することができましたが、生産量あたりのエネルギー使用量（エネルギー原単位）が3.3%増加しました。今後も、より一層、エネルギーの効率的な活用等に取り組めます。

### ■総エネルギー使用量



### ■CO<sub>2</sub>排出量



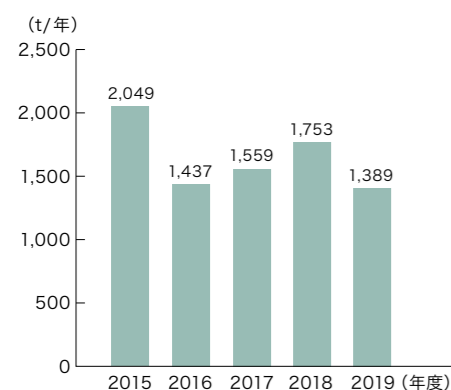
## 大気汚染防止対策

製造工程や自家発電設備から発生するばい煙を抑制するため、テレメータによる常時監視、排ガス連続測定装置の更新等の対策を講じるとともに、自主管理値の管理状況の社内回覧や法規制順守教育を実施し、社員の意識高揚を図っています。また、貯鉱場、場内路面などへの24時間散水やダストモニターによる常時監視を行い、粉じんの飛散を防止しています。2019年度、SO<sub>x</sub>排出量とNO<sub>x</sub>排出量は昨年度より減少しました。

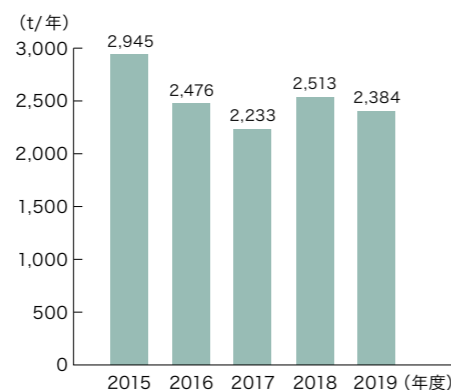


排ガス測定の様子

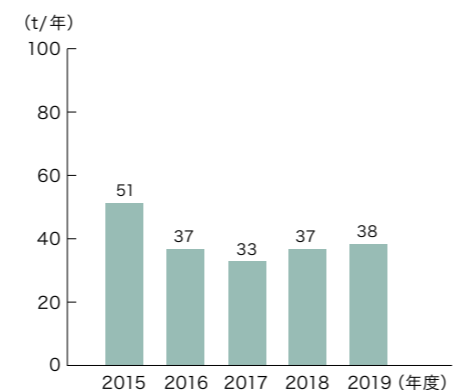
### ■SO<sub>x</sub>排出量



### ■NO<sub>x</sub>排出量



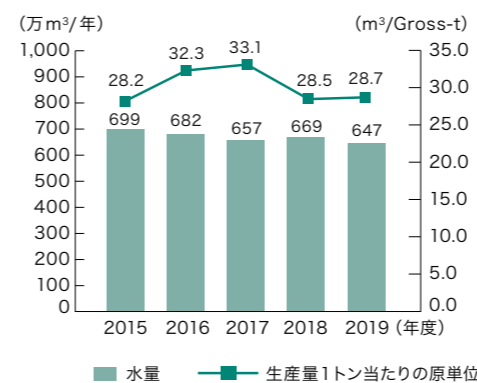
### ■ばいじん排出量



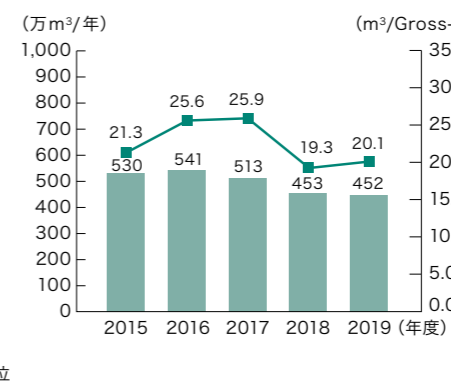
## 水質汚濁防止対策

電気炉やフェロニッケルスラグの冷却に循環水を利用することにより、水使用量の削減に取り組んでいます。排水については、定期検査に加え、連続監視モニターによるリアルタイム監視や社員による巡視など日々の管理を徹底しています。また、排水終末処理施設では、降雨時の濁度濃度上昇の際に処理水量の調整を行う等適切な管理を行うとともに、ろ過機2台のろ材を交換しました。2019年度も排水の協定値超過はありませんでした。

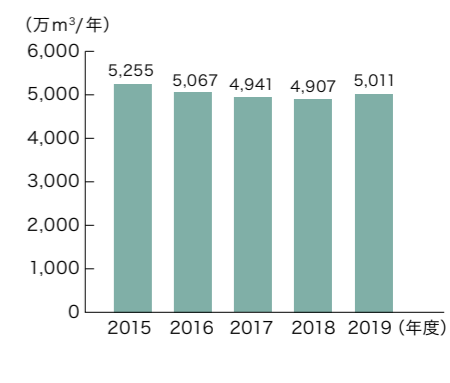
### ■給水量



### ■総排水量



### ■循環利用水量



## 化学物質の適正管理

PRTR制度に基づき、届出対象物質の排出量、移動量を把握し、毎年行政への届け出を行っています。2019年度のPRTR届出対象物質は、表に示す4種類でした。化学物質については、購入量、使用量、保管量を管理し、有害物質の使用量を削減する取り組みを行っています。2019年度には薬品管理システムを導入し、検査で使用する薬品について今まで以上に徹底した管理を実施しています。



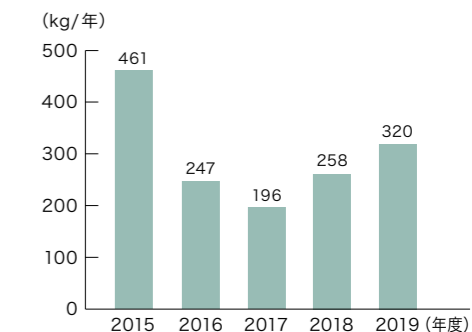
導入した薬品管理システム

また、フェロニッケル製造工程から排出されるニッケル化合物を当社の最も重要な管理項目の一つとし、ダストモニターの設置や24時間散水、モータースイーパーによる清掃などの対策を講じています。

### ■2019年度PRTR届出対象物質

排出量	排出場所	ニッケル化合物 (kg/年)	クロム及び三価クロム化合物 (kg/年)	マンガン及びその化合物 (kg/年)	ダイオキシン類 (mg/年)
		大気	261	84	54
排出量	水域	59	0	4	0
	土壌	0	0	0	0
	所内埋立	0	0	0	0
移動量	社外廃棄物	0	0	0	0.80

### ■ニッケル化合物排出量



## 環境法規制等への対応

フロン排出抑制法に基づき、当社で保有する業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器等の点検を定期的に行っています。点検の結果、報告が必要な漏えい等はありませんでした。また、大気汚染防止法の水銀排出施設である廃棄物焼却炉については、法に則り排ガス中の全水銀を測定しています。

廃棄物処理法における水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯等）についても適切に処理委託しています。PCB含有機器のうち、大型変圧器の微量PCB含有絶縁油に関しては処理を進めています。